

Zoom ハイフレックス授業セットアップガイド・1

—授業資料をスクリーンに投映した授業—

【授業開始】

1-1. AV ボックスの鍵を開けて主電源を入れる

1-2. ノートパソコン等に HDMI ケーブルを接続する、または RGB ケーブル及び音声ケーブルを接続する

1-3. 1-2. の接続方法に対応した AV ボックス内のボタンを押す

- ・ HDMI ケーブルは「HDMI」、RGB ケーブル及び音声ケーブルは「PC (パソコン)」
- ・ 1 共 04・21・22・23 はプロジェクターがスピーカーを兼ねているのでリモコンでプロジェクターの電源を入れ、音量を調整する
- ・ 共北 3A・3B・3C・3D は AV ボックス上のスピーカーの電源を入れる

1-4. リモコンでプロジェクターの電源を入れる

- ・ 4 共 11・21・30・31 は教卓のスイッチ、教育院棟講義室 31・32 は AV ボックスのスイッチでプロジェクターの電源を入れる

1-5. 壁面スイッチでスクリーンを下ろす

- ・ 4 共 11・21・30・31、教育院棟講義室 31・32 はプロジェクターの電源を入れるとスクリーンも下りる
- ・ スクリーンに何も映っていない場合は、Windows OS のパソコンは Windows ボタン + 「P」 から複製を選択する、Mac OS のパソコンはミラーリングの設定を確認する

1-6. ノートパソコン等を KUINS-Air に接続する

- ・ 専任教員は SPS-ID とパスワード、非常勤講師は ECS-ID とパスワードを入力する

1-7. ノートパソコン等を Zoom に接続してミーティングを開始する

- ・ 事前に学生に周知していなかった場合は、ミーティング開始後、KULASIS や Panda のメール機能で周知する
- ・ ミーティングへ入室後、マイクとビデオを作動させる
- ・ ミーティングのレコーディングを開始する

1-8. 授業資料を Zoom の画面共有で表示する

- ・先生はノートパソコン等のカメラの撮影範囲内で話すことを推奨

1-9. 遠隔受講者が入室してきたら映像・音声に問題がないか確認する

- ・マイクが設置されている教室ではマイク使用を推奨
- ・教室受講者が Zoom に接続する場合は、必ずマイク・スピーカーを切るよう指示する

【授業終了】

1-A. Zoom アプリの右下「終了」から「全員に対してミーティングを終了」する

1-B. リモコンでプロジェクターの電源を切る

1-C. ケーブル、マイク、リモコンを AV ボックスの中に戻す

1-D. 主電源を切り、AV ボックスを施錠する

Zoom ハイフレックス授業セットアップガイド・2

——板書を用いた授業——

【授業開始】

2-1. AV ボックスの鍵を開けて主電源を入れる

- ・主電源を入れるとマイクが使用可能になる

2-2. ノートパソコン等を KUINS-Air に接続する

- ・専任教員は SPS-ID とパスワード、非常勤講師は ECS-ID とパスワードを入力

2-3. ノートパソコン等を Zoom に接続してミーティングを開始する

- ・事前に学生に周知していなかった場合は、ミーティング開始後、KULASIS や PandA のメール機能で周知する
- ・ミーティングへ入室後、マイクとビデオを作動させる
- ・ミーティングのレコーディングを開始する

2-4. ノートパソコン等を板書撮影位置に設置する

- ・目安としては黒板（白板）から 3m 離れてノートパソコン等内蔵カメラで撮影すると、おおよそ 4m（教室黒板の半面相当）撮影できる。撮影範囲外に板書しないように注意
- ・教室後方から見えるぐらいの大きさで板書すると撮影しても見える
- ・遠隔参加者の発言を拾うためにはノートパソコン等の近くにマイクを 1 本設置する、またはスピーカーフォンを利用する

2-5. 遠隔受講者が入室してきたら映像・音声に問題がないか確認する

- ・板書しながらでも、ノートパソコン等で音声を拾えるようにマイクの使用は必須
- ・マイク同士が近づくとハウリングするので注意

【授業終了】

2-A. Zoom アプリの右下「終了」から「全員に対してミーティングを終了」する

2-B. マイクを AV ボックスの中に戻す

2-C. 主電源を切り、AV ボックスを施錠する

【授業開始】

3-1. AV ボックスの鍵を開けて主電源を入れる

3-2. ノートパソコン等に HDMI ケーブルを接続する、または RGB ケーブル及び音声ケーブルを接続する

3-3. 3-2. の接続方法に対応した AV ボックス内のボタンを押す

- ・ HDMI ケーブルは「HDMI」、RGB ケーブル及び音声ケーブルは「PC (パソコン)」
- ・ 1 共 04・21・22・23 はプロジェクターがスピーカーを兼ねているのでリモコンでプロジェクターの電源を入れ、音量を調整する
- ・ 共北 3A・3B・3C・3D は AV ボックス上のスピーカーの電源を入れる

3-4. リモコンでプロジェクターの電源を入れる

3-5. 壁面スイッチでスクリーンを下ろす

- ・ スクリーンに何も映っていない場合は、Windows OS のパソコンは Windows ボタン + 「P」 から複製を選択する、Mac OS のパソコンはミラーリングの設定を確認する

3-6. ノートパソコン等を KUINS-Air に接続する

- ・ 専任教員は SPS-ID とパスワード、非常勤講師は ECS-ID とパスワードを入力する

3-7. ノートパソコン等を Zoom に接続してミーティングを開始する

- ・ 事前に学生に周知していなかった場合は、ミーティング開始後、KULASIS や PandA のメール機能で周知する
- ・ ミーティングへ入室後、マイクとビデオを作動させる
- ・ ミーティングのレコーディングを開始する

3-8. 遠隔受講者が入室してきたら映像・音声に問題がないか確認する

- ・ 教室受講者が ZOOM に接続する場合は、必ずマイク・スピーカーを切るよう指示する

3-9. 授業方法により Zoom の画面を切り替えるなどする

- ・ 輪読や発表の場合は、スピーカービューにして発表者を大写にする。教室参加者が発表者の場合は、ノートパソコン等の前で発表させる
- ・ クラス討論の場合は、ギャラリービューにする。ノートパソコン等で教室を俯瞰的に撮影する。教室受講者にマイク・スピーカーを切った状態で Zoom に接続させてもよい。音は全て1台のノートパソコン等に集約させる
- ・ グループ討論やグループ課題に取り組ませる場合は、ブレイクアウトルームの機能を用いる。教室参加者だけのグループは直接会話させる。遠隔参加者だけのグループは ZOOM を通じて会話させる。教室参加者と遠隔参加者の混成グループは、教室参加者側は1グループで音を1台のノートパソコン等に集約させれば、エコー等の問題は生じない。ただし、ブレイクアウトルームへ入室後にマイク・スピーカーを作動させ、ミーティングに戻る前にマイク・スピーカーを切ることを徹底させる。
- ・ 発言が重複すると、それぞれの発言が途切れ途切れになる場合があるので注意

【授業終了】

- 3-A. Zoom アプリの右下「終了」から「全員に対してミーティングを終了」する
- 3-B. リモコンでプロジェクターの電源を切る
- 3-C. ケーブル、マイク、リモコンを AV ボックスの中に戻す
- 3-D. 主電源を切り、AV ボックスを施錠する